

まなびひろ



西川を活用した事業展開

問 西川を有効活用することは中心市街地活性化策の一つだと考えるがどうか。

答 西川緑道公園は全国都市緑化おかもやまフェアの協賛会場として、フェア期間中、オ



さらなる利用が期待される西川緑道公園

ープンカフェやジェラートショップ、音楽ステージなどの事業を「花・緑ハーモニーフェスタ in 西川」と銘打って、緑道内各所で実施する予定だ。フェア終了後は、地域住民や店舗、公園利用者と連携し、用水路や道路と合わせた活用方法についての研究を行い、西川緑道公園が市民等により親しまれ、中心市街地の活性化にも寄与する場となるよう検討したい。

緑化フェア来場者へ

西大寺の魅力をPR

問 緑化フェアを訪れた人々に西大寺のまちを歩いてもらうための取り組みは。

答 西大寺駅前から南に延びる県道や西大寺ふれあいセンター前の市道、観音院周辺など各所にプランターを設置したり、見どころ・食べどころを明記したマップの作成、レンタサイクルの実施などを計画している。

また、マップはメイン会場

来場者に配布し、会場から美術館等へのまち中の施設へ誘導していきたい。

岡山市基本構想

問 「岡山市基本構想」に掲げられた都市像の一つである「中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市」とは。

答 中四国の交通結節点に位置する地理的な優位性、本市の強みである健康・医療・福祉などの分野での集積を生かし、予防・診療から介護まで切れ目のないサービス体制の構築や安全・安心ネットワークをはじめ地域力による地域福祉の支援を行なうことなどを目標とし、中四国、そして西日本圏域の人々の幸福に貢献する都市の創造を目指そうとするものだ。

都市計画道路の見直し

問 都市計画道路の見直し作業の内容とスケジュールは。

答 都市計画決定後30年以上経過した未整備の路線について、さまざまな観点から調査・検証し、17路線の見直しを公表した。今後これらの路線

について、関係地権者や地域の意見を聞きながら、平成21年度末までに都市計画変更原案を作成し、その後速やかに都市計画の変更手続きに入る予定だ。

ビーフン料理を岡山名物に

問 国際友好交流都市の台湾・新竹市の名物「ビーフン」

が岡山の名物料理となるようにキャンペーンをしてはどうか。

答 平成20年10月18・19日に「台湾・新竹市伝統産業フェア in 岡山」でビーフンの試食販売を行った。

食を通じた交流はお互いの理解を深める上で非常に有意義で、自らの文化を高め、新たな文化創造にもつながると考える。

当面は民間業者や関係業界等と連携し、ビーフン料理のPRを進めたい。

おかもやま国際音楽祭

改善点と新たな課題

問 前回のおかもやま国際音楽祭の反省点を踏まえ、平成20年度はどのように改善したのか。また、新たな課題は。

答 前回は有料のオープニングフェスティバルが音楽祭のすべてであるかのような印象になってしまったため、今回はメイン期間の最初と最後に大きなイベントを設定し、無料とした。その結果、無料イベントの参加者は前回の九千七百六十一人から一万四千七百二十人へと大幅に増加した。しかし、集客面で目標に達していないイベントもあり、目標設定の精査とより効果的なPR等について研究したい。



おかもやま国際音楽祭2008 ～オープニングフェスティバル～